

池袋児童の村小学校の歴史的意義

学校創設100周年を記念して

主催 日本教育学会 東京地区

日時 2024年8月23日 13:30~16:00

場所 東京大学 福武ラーニングシアター (福武ホール・地下2階)
(ハイフレックス開催)

2024年4月、日本の大正新教育を代表する学校の一つである池袋児童の村小学校が設立100周年を迎えた。その歴史はわずか12年であったが、生活綴方や生活教育が発展する母体になるなど、歴史的な意義は大きい。その歴史を語り継いでいくために、多様な側面から同校の歴史的意義を考える。

報告者

田嶋一 (國學院大学) 教育の世紀社と池袋児童の村小学校

富澤美千子 (横浜美術大学) 野村芳兵衛の道德教育—児童の村小学校での実践を通して—

浅井幸子 (東京大学) 池袋児童の村小学校のメディア革命

川地亜弥子 (神戸大学) 小砂丘忠義の綴方教育論—村から全国へ—

司会 上野正道 (上智大学)

コメント 富士原紀絵 (お茶の水女子大学)

参加申し込み (右のQRコードからも申し込めます)

<https://forms.gle/H4HvkR3GUu1DVYiy5>

問い合わせ (☆を@に変えてください)

asai☆p.u-tokyo.ac.jp

